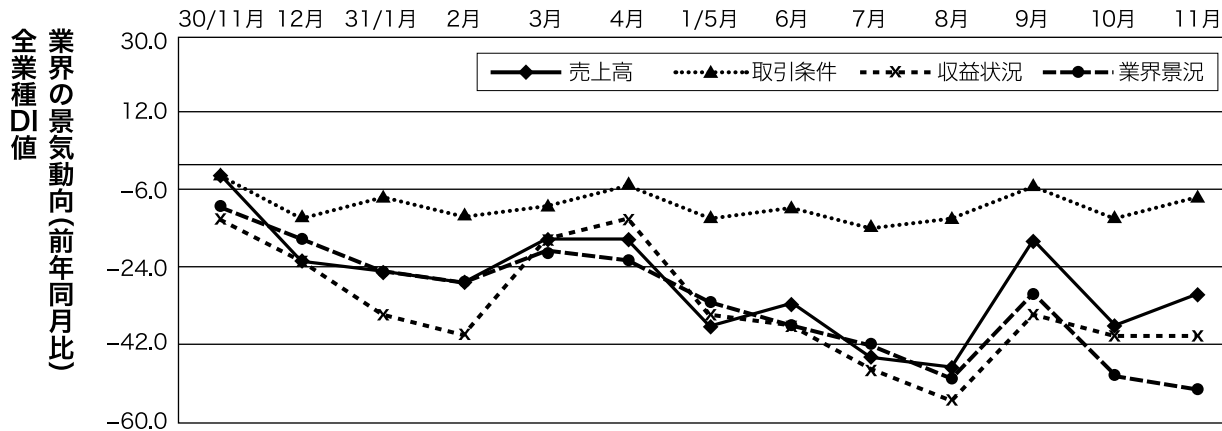




# 業界の今

情報連絡員報告より  
11月の業界の動き

## ◆ 令和元年11月度 情報連絡員報告 ◆



	30/11月	12月	31/1月	2月	3月	4月	1/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	増減
売上高	-2.5	-22.5	-25.0	-27.5	-17.5	-17.5	-37.5	-32.5	-45.0	-47.5	-17.5	-37.5	-30.0	7.5
取引条件	-2.5	-12.5	-7.5	-12.5	-10.0	-5.0	-12.5	-10.0	-15.0	-12.5	-5.0	-12.5	-7.5	5.0
収益状況	-12.5	-22.5	-35.0	-40.0	-17.5	-12.5	-35.0	-37.5	-47.5	-55.0	-35.0	-40.0	-40.0	0.0
業界景況	-10.0	-17.5	-25.0	-27.5	-20.0	-22.5	-32.5	-37.5	-42.5	-50.0	-30.0	-50.0	-52.5	-2.5

**概要** 令和元年11月の前年同月比DI値の推移は前月に比べ、「売上高」が7.5ポイント、「取引条件」は5.0ポイント上昇したが、「収益状況」は変わらず、「業界景況」は2.5ポイント悪化した。

経営者及び従業員の高齢化による人材不足等が各業界に影響が出ており、懸念材料も多く、中小企業の先行きは依然として注視していく必要がある。また、売上の上昇率に比べて収益状況に変化がないことから、労務単価や原材料の上昇など、経営コストの増大によって、売上高に対する利益率の低下が懸念される。

### 最近経営者の高齢化による廃業だけでなく、従業員の高齢化による退職での廃業も出ている。(肥料)

	集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。秋野菜の作付については、台風と長雨の影響により初期の生育の遅れがみられたが、その後の天候の回復により生育が回復している。また全日本漬物協同組合連合会による地域特産品委員会が12月8日に山梨県で開催されました。更に今年から外国人技能実習生を対象とした外国人技能実習評価試験を今後予定している。
	紙紙加工品	古紙	11月の取扱い重量は段ボールは約96±3%、新聞、チラシは約93±6%、雑誌、雑紙、その他を合わせて約92±5%。消費税増税後も影響が少ない業種や商品もあるようだが、全般的には影響が出ており、天災や少子高齢化等が根底にあるように思う。中国の廃棄物輸入規制と世界的な景気の衰退感等が大きく影響し、年末年始に向け古紙輸出ができず、合わせて国内生産が大幅に減少、原紙輸出も価格的に厳しいようである。年末に向けて、都市部と地方・地域によって需要が異なるようにも思えるがその結果、全国的に製紙原料の古紙が余ってきており、関東では輸出販売をしていた古紙問屋が閉店しているようである。現在は輸出古紙の流通価格も暴落し、正月休みや中国の冬季休暇の国慶節等で輸出がしにくい状況となっている。10月に最低賃金と消費税の引き上げがあり、社会保障費負担と合わせて下請けの中小零細企業に重くのしかかっている。無料排出所のゴミの置き去りで、排出者の特定と三重県警に注意してもらった。古紙の持ち去り行為はなくなるが、年末の不審火や事故等がないように祈るばかりである。
	電気機器	鳥羽	11月に入って年度末の受発注が増加すると期待していたが、非常に伸び悩んでいる。昨年と同時期と比較しても15%ダウンしている。
非製造業	卸売業	肥料	組合の通常総会が開催されたが、組合員数の減少が続いている。最近経営者の高齢化による廃業だけでなく、従業員(技術職)の高齢化による退職での廃業も出ている。今後も組合員の二極化が進んでいくものと思われる。
	小売業	スポーツ	今年は秋が短く、急に冬に入った。本来ならばウインドブレーカーの注文をまとめ、順に納品という段取りだが、寒くなりウインドブレーカーの納品催促が早まった。メーカーの用意が整っていない事もあり困っており、暖冬の際は用意があるのに注文が決まらないこともあり、商売の難しさを感じる。
	サービス業	警備	毎年このことであるが、この時期は発注量が大幅に増えるが、職員数が現状のままであるため、自然に単価が上がる。